

- | | |
|---------|-------------------------|
| ● ひびき | ① ノーベル賞に最も近かった2人の予言 |
| ● 組合行事 | ② 第29回関西地区配線設計技能コンクール大会 |
| | ⑧ 新年賀詞交歓会 |
| ● 青年部 | ⑧ 青年部連合会府県支部代表者会議 |
| | ⑨ 青年部連合会第2回会員大会 |
| ● 工組の動き | ⑪ 安定雇用創出事業 終盤を迎えて |
| ● 組合行事 | ⑪ 一般用電気工作物調査業務連絡会 |
| ● ひろば | ⑫ 黒部ダム 思いを癒す研修旅行 |



最優秀賞



優秀賞



優良賞

配線設計技能コンクール表彰

関西電気工事工業会のホームページ <<http://www.kansai-znd.jp>>

関西電気工事工業会とは、また、活動内容等についてはホームページをご覧ください。



配線設計技能コンクール写真館



配線設計技能コンクール会場風景



配線設計の状況

- | | |
|---------|-------------------------|
| ● ひびき | ① ノーベル賞に最も近かった2人の予言 |
| ● 組合行事 | ② 第29回関西地区配線設計技能コンクール大会 |
| | ③ 新年賀詞交歓会 |
| ● 青年部 | ④ 青年部連合会府県支部代表者会議 |
| | ⑤ 青年部連合会第2回会員大会 |
| ● 工組の動き | ⑥ 安定雇用創出事業 終盤を迎えて |
| 組合行事 | ⑦ 一般用電気工作物調査業務連絡会 |
| ● ひろば | ⑧ 黒部ダム 思いを癒す研修旅行 |



ノーベル賞に最も近かった2人の予言



大阪府電気工事工業組合
常任理事 小森 敏鑑

政権交代した安倍政権に勢いがある。長年日本経済と日本人を暗雲で覆っていたデフレ退治に「ノーベル賞に最も近い」浜田宏一イェール大学名誉教授を軍師とし、いわゆる3本の矢政策のアベノミクスで挑んでいる。私は、安倍政権の経済政策は、個人的に支持する国土強靭化計画の藤井聰氏が内閣に参与に任命されている点も含め、概ね好意的に見ている。

只、一つ懸念されることがある。その事を「ノーベル賞に最も近かった」文学学者と経済学者の日本に対する警句とともに指摘したい。

40年前に悲劇的最後を飾った作家三島由紀夫は、アメリカによってもたらされた「戦後民主主義とそこから生じる偽善」を進んで自分の体質とした「日本」の精神的空虚さに「たいして希望がもてない」と語り、「なくなってしまう」と言った。そして「その代わりに、無機的な、からっぽな、ニュートラルな、中間色の、富裕な、抜け目がない、或る経済大国が極東の一角に残るであろう」と予言していた。真善美という人類の崇高な理念を表す形容をあえて外した表現に作家のアイロニー以上の怒りを感じるのは私だけであろうか。

故ロンドン大学森嶋通夫名誉教授の最後の著書「なぜ日本は行き詰ったか」で、日本は成長余力がなくなる寸前まで経済成長を追求し、追い風がなくなった

嵐の没落期に入っていると分析する。結果、国民は「衰退期のローマ人のように全く自分勝手で、快樂主義で、規律がなく、そして、眞の指導力に欠けている」。そのためには「子供たちに個人主義と自由主義の本質と眞の意味を教えるような」教育の改革が必要で、眞のリーダーが現れるまで半世紀はかかり、その間日本は長い不況に耐えなければならないといっている。

この長期不況期を脱するには、嵐の状態に嵐を起こせるチャーチルやサッチャーのような強力な政治指導者が必要で、現在の日本の政治家が「こんなにひ弱く、かつ自信をなくしている限り、日本は自分がはまり込んでいる罠から脱出する力をもつ見込み」ではなく「生活水準は高いが、活動力がなく、国際的に重要でない国」が21世紀半ばまで続くとイメージしておられる。

2人の結論がいみじくも似ているのに驚きを感じる。状況は2人が生きていた時期よりもいっそう悪い。2つの大きな震災や9.11の同時多発テロとイラク戦争、サブプライム危機に端を発するリーマンショックと欧洲通貨危機、これでもかという災厄の連続である。安倍政権が国民に最後の機会というのも十分頷ける。安倍総理が前回と違い日銀人事等で指導力を発揮されているのは頼もしい限りである。しかし、忘れてはいけないことは、われわれも職場や地域で指導力が問われているのである。今の教育体制では100年待ってもメシアは現れない。われわれが拙いながら預言者となり指導者になり、日本を先導せねばならない。われわれにも覚悟が問われていると言える。山本七平氏やマックス・ウェーバー流の高い倫理性に裏打ちされた資本主義の精神やシェンペーター流の企業家のイノベーション精神が今こそ必要になると思われる。

第29回 関西地区配線設計技能コンクール大会 =滋賀で開催=



向山大会会長開会挨拶

平成25年2月15日（金）関西電気工事工業会では、滋賀県電気工事工業組合の協力のもと草津エストピアホテルで「第29回関西地区配線設計技能コンクール大会」を開催した。

大会は午前9時鹿野大会副会長から開会宣言があり、引き続き向山大会会長は来賓各位に大会への出席と平素の工業会ならびに各府県工組事業への協力に謝辞を述べた後、「政権交代で新たな好機が訪れるようとしています。そのため、皆さん方とともに技能の研鑽、知識・知見を広げることが大事になってきます。本日の配線設計技能コンクールはそういうことを踏まえての事業であります。皆さん方の技能、知識、知見を十分に発揮されるよう努力、研鑽をしていただきたい。これまでの勉強会や今までに蓄えられた知識をいかんなく発揮されるよう、健闘を祈念しています。」と開会挨拶をおこなった。

関西内線工事研究会会长の祝辞を関西電力電力流通事業本部の石原ネットワーク技術部長が代読され「電気に対するお客様の意識は変化してきており、特に、太陽光発電の大量導入や蓄電池・EVの普及に向けたスマートグリッドへの社会の期待は増すばかりです。貴工業会では「提案型技術営業」や「EV施工パートナー制度」など多大なご尽力をいただ

いています。こうした時代の要請に即した活動は今後ますます重要性を増していく。本コンクールでは、技能の向上とともにお客様との対話を深め、ニーズに素早く対応できるよう、今後さらに精進され、電気工事施工品質のさらなる向上に励まれることを期待しています。本日ご参加の選手皆さんに平素練磨された技量を遺憾なく発揮され、立派な成績を認められることを祈念いたします。」とのご挨拶をいただいた。

来賓の紹介の後、藤本大会運営委員長より競技説明があり、定刻の午前9時30分から関西2府4県の工組選出の23名（別掲）の精銳の皆さんに競技に入った。



石原部長ご祝辞

<配線設計技能コンクールの課題>

- (1) 木造2階建て新築住宅で、夫婦と子供2人の家庭
- (2) オール電化住宅でIHクッキングヒータ、マルチエアコン、エコキュート、床暖房、その他与えられた電気機器への配線
- (3) 快適電化配線住宅推奨基準に適合したもので経済性を考慮する
- (4) 電気設備の容量を考慮した分電盤回路数等の設計
- (5) 住居には太陽光発電システムを設置してあり、電力系統への系統連系をおこなう
- (6) 制限時間は2時間30分

競技終了後、作品の審査待ち時間を利用して参加者は佐川美術館の見学会をおこなった。

午後4時、大会運営委員長より審査結果の発表（別掲）が行われた。坂元審査委員長から「2時間半と言う短い時間での設計ご苦労さま。今回は全員が時間内で作品を完成させていた。作品をみた感想としては、良かった点は配線の誤りや図記号誤りがなく、完成度の高い作品が多くなったこと、また、LED照明の採用や環境に配慮した設計となっていることです。一方、考慮すべき点は凡例と図面が合っていないこと、設計コンクール用の設計となっているものが見られた。が、全体的に甲乙つけがたいものであった。」の講評があった。

出場選手一覧（代表選手24名）（敬称略）				
府県名	定数(人)	所 属	氏 名	
大阪	大阪北	3	(有)永富電気商会	永富正治
			株三栄	三谷国夫
			京阪電気興業(株)	廣田剛正
	大阪南	3	興陽電気(株)	井上智宏
			株トキワ電機設備	奥出宏之
			株セイコー	今川公人
京都	3	北陵興業(株)	木下賢一郎	
		福知山電気(株)	西村一起	
		(有)井上電気商会	井上和紀	
兵庫	神戸	3	オカダ電工	真砂野英之
			株日本電気工業	田中克治
			(有)宮田電気設備	橋本隆男（欠席）
	姫路	3	橋本電気設備	橋本貴史
			福崎電業(株)	平山琢
			(有)光栄電工	宮地正樹
奈良	3	今井電気商会	今井茂人	
		鴻池電機	鴻池勝司	
		合田電気	合田育弘	
滋賀	3	西村電気商会	西村高明	
		川崎電気	川崎雅基	
		ODK大西電機工業所	忠田明	
和歌山	3	大谷電気(株)	西眞史	
		三光電気営業所	内田哲司	
		楳電機	楳浩一	



コンクール会場風景

●第29回関西地区配線設計技能コンクール大会



沖島近畿支部長ご祝辞

表彰式では団体賞、個人賞がそれぞれ授与された後、来賓の中部近畿産業保安監督部近畿支部の沖島支部長から出場者への健闘をたたえ、受賞者へのお祝いの言葉を述べられた後「このコンクールの中で配線設計をあえて手書きで行う作業は、設計プロセスを再確認し、技術基準適合の重要性について改めて確認いただける貴重な機会であると認識しています。さらには、設計力の向上に加え、自由な設計思想を伸ばすことにもつながり、顧客のニーズ把握や顧客への提案につながる要素が培われると思われます。まさに匠の技と言えましょう。今回、出場された皆様におかれましても、今後、電気工事の現場においてリーダとしてご尽力いただくとともに、引き続き電気工事における安全の確保に万全を尽くしていただきますようお願いします。」との挨拶がありました。

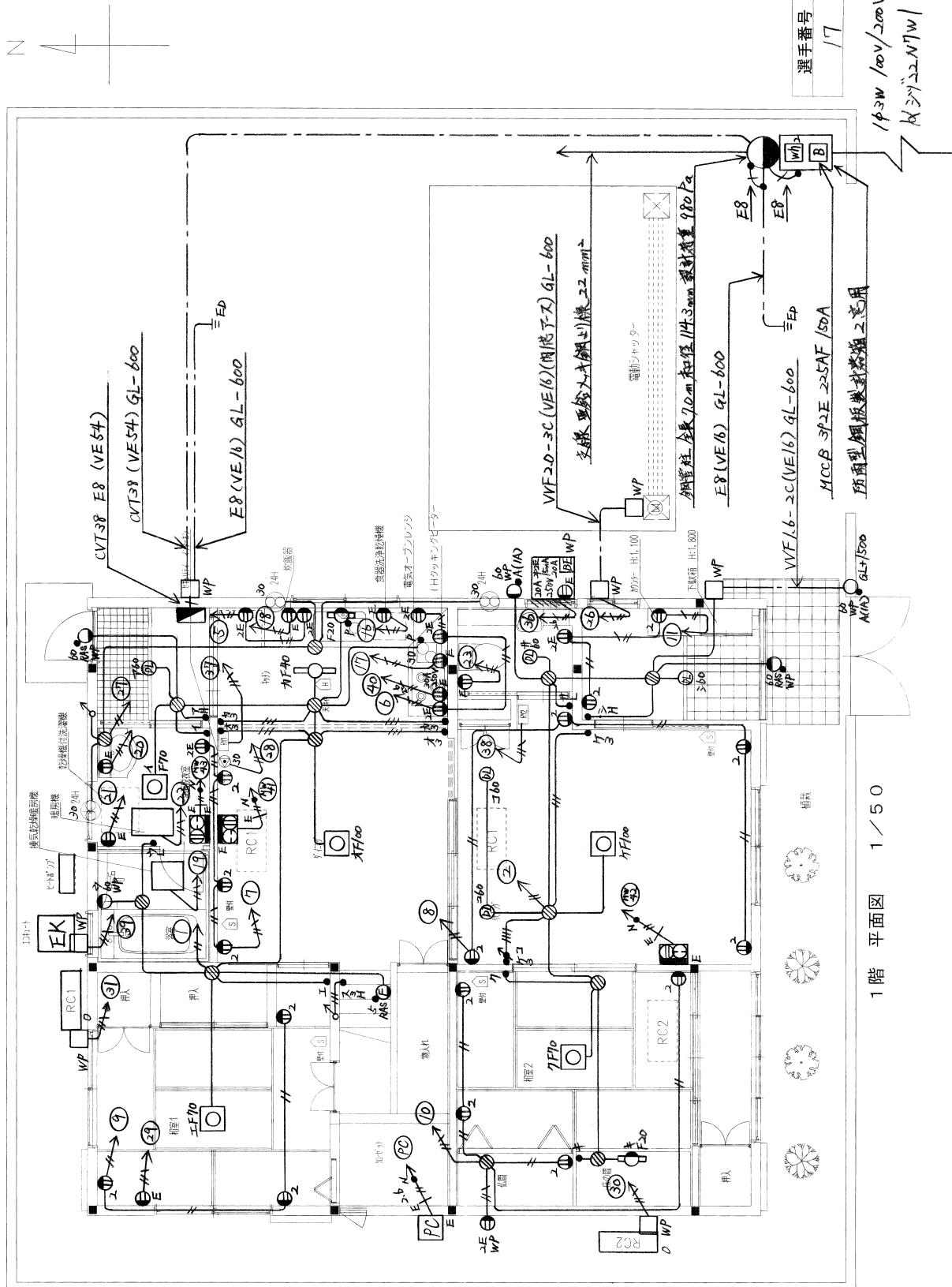
最後に西野大会副会長より開催の滋賀県に慰労とお礼が述べられ、次回は和歌山県での開催を宣言する閉会の挨拶があり、大会は無事成功裡に終了した。

成績発表(敬称略)	
団体賞	第1位
	全日本電気工事業工業組合連合会 会長賞 兵庫県電気工事工業組合姫路ブロック
	第2位
	関西内線工事研究会 会長賞 滋賀県電気工事工業組合
個人賞	第3位
	関西電気工事工業会 会長賞 大阪府電気工事工業組合 大阪北ブロック
	◇最優秀賞
	(中部近畿産業保安監督部 近畿支部長賞) 橋本電気設備 橋本 貴史
個人賞	◇優秀賞
	(関西内線工事研究会 会長賞) (有)永富電気商会 永富 正治 福崎電業(株) 平山 琢 鴻池電機 鴻池 勝司
	◇優良賞
	(関西電気工事工業会 会長賞) 榎電機 榎 浩一 大谷電気(株) 西 真史 西村電気商会 西村 高明 ODK大西電機工業所 忠田 明 福知山電気(株) 西村 一起



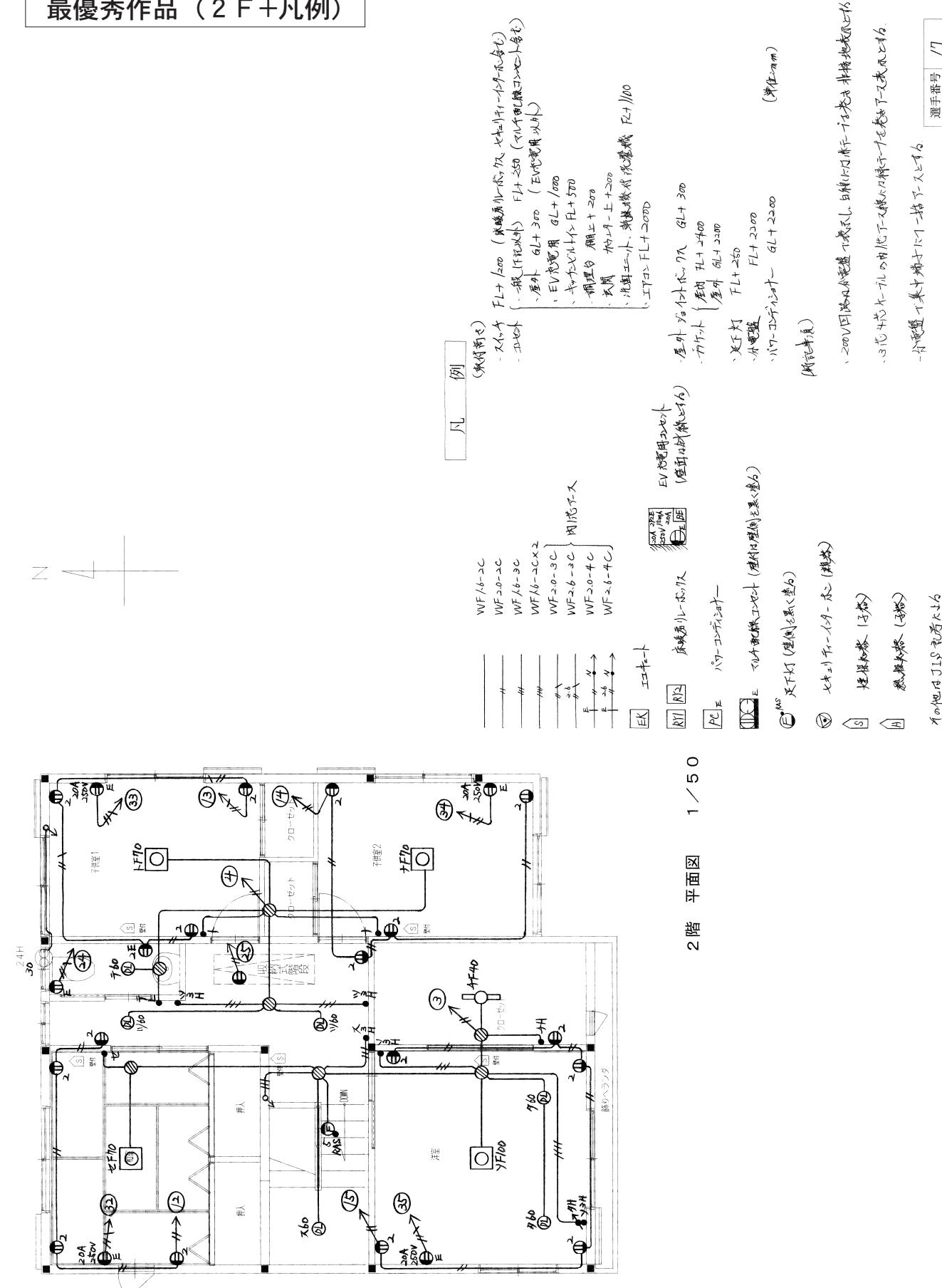
団体優勝(姫路ブロック)の表彰式)

最優秀作品（1F）

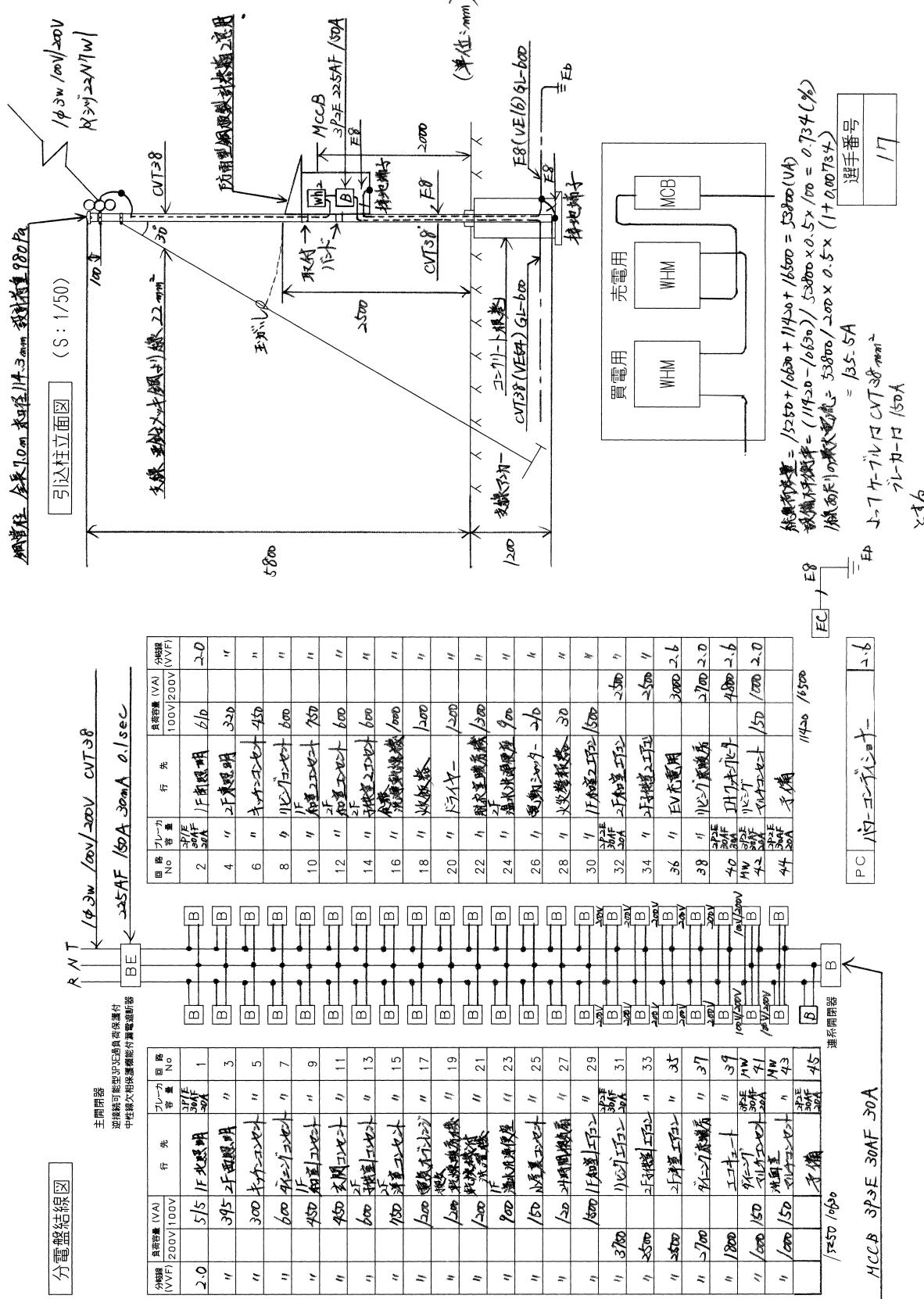


●第29回関西地区配線設計技能コンクール大会

最優秀作品（2 F+凡例）



最優秀作品（分電盤結線図）



●組合行事

平成25年新年賀詞交歓会を開催



松井理事長の挨拶

京都府電気工事工業組合の平成25年新年賀詞交歓会を1月15日（火）合同会議終了後、ホテルグランヴィア京都「竹取の間」にて午後3時30分より開催致しました。

新年を祝し、当日の参加は来賓22名、賛助会員14名、組合関係91名の計127名でした。松井理事長の

今年の抱負、決意の挨拶後、京都府知事、京都市長、京都府中小企業団体中央会会长、関西電力㈱京都支店長、小巻府議会副議長より祝辞を頂戴しました。京都府からの委託事業「安定雇用創出事業（グリーンイノベーションを担う人づくり事業）」については皆様より期待と励ましのお言葉をいただきました。祝辞後、倉口顧問の力強い乾杯発声で祝宴に入りました。

和やかな雰囲気の中、あちらこちらで懇談の和が広がっていました。宴も最高潮を迎える中、惜しまれつつ瀧葉副理事長の閉会の挨拶をもって散会となりました。



太田副知事

●青年部

関西電気工事工業会青年部連合会

府県支部代表者会議を開催



代表者会議

関西電気工事工業会青年部連合会では昨年の12月1日（土）に大阪ミナミで府県支部代表者会議を開催しました。

この日は連合会役員10名のほか、各府県支部から青年部代表者33名が出席しました。

関西役員から全日電工連および関西ブロックでの活動状況の報告と工業会、府県、支部間の情報ネットワーク構築に関するネットマスターの説明があり、その後、事前に実施したアンケートを基に支部



懇親会

活動に関する質疑応答を行ないました。最後には大阪(高槻支部)と兵庫(三宮支部)から支部の活動状況について紹介願いました。

アンケートの集約結果を簡単にまとめてみました。

①支部役員の選出

- ・推薦
- ・話し合い
- ・持ち回り
- ・指名

②事業の企画運営方法

- ・話し合い
- ・三役会議
- ・部会制
- ・年度計画を総会で承認
- ・役員提案

- | | |
|--|---|
| <p>③定例会議の開催回数
・年1回～年12回</p> <p>④研修会事業の内容
・研修会（省エネ、太陽光、財務、CAD等）
・見学会（発電所、工場等）
・提案型技術営業</p> <p>⑤懇親会の頻度
・年1回～年6回</p> <p>⑥親会との共同事業
・電気安全月間活動
・設計コンクール
・親会の研修会・旅行</p> | <p>・奉仕活動</p> <p>⑦支部長職在席前後の変化
・組合に愛着が湧いた
・責任の重さを感じた
・業界の発展や組合の将来に関心をもった
・知り合いが増え、仕事でのつながりが増えた</p> <p>⑧工業会への意見・要望
・各府県が気軽に交流できるように
・研修会等のテーマに一工夫を
・事業については増やしてほしい意見と減らして欲しいとの意見があった</p> |
|--|---|

平成24年度関西電気工事工業会青年部連合会 第2回会員大会を開催

- ◎意見交換会『親会への青年部のかかわり方と役割分担』
- ◎支部事業活動の発表と表彰
- ◎懇親会

関西電気工事工業会青年部連合会では平成25年2月9日（土）15時からラマダホテル大阪で第2回会員大会を開催しました。青年部会員72名のほか親会から会長以下8名が参加されました。

また、全関東電気工事協会青年部会から植草副会長に参加をいただきました。

<意見交換会>

意見交換のテーマを『親会への青年部のかかわり方と役割分担』として、8つのテーブルに分かれて、

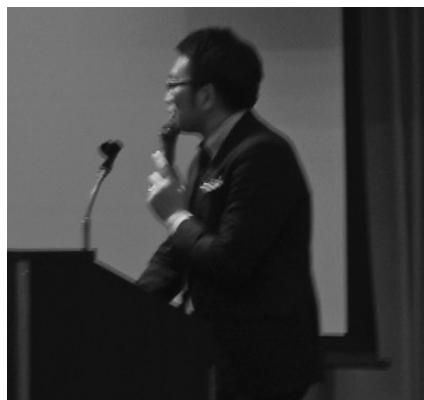
親会の方々も参加いただき、それぞれのテーブルの座長の指導のもとで討議を行いました。

意見交換会で出された主な意見は次のような内容でした。

- ・親会と青年部とコラボして事業を進める。（研修会、イベント、地域への貢献、安全運動等）
- ・後継者育成のため青年部OBの活用、また、親会を継いでいく心構えを養う
- ・活動目的を明確化し、役割分担を決め、活性化を図る



堀口青年部会長挨拶



尼崎支部発表



高槻支部発表

●青年部



但馬支部の発表



播州支部の発表



東大阪支部の発表



意見交換会の風景

<支部事業活動の発表>

事前にエントリー願った16支部の事業活動の中から

- ①影 韻 度
- ②P R効果
- ③独 自 性
- ④工 夫

の 4 項目から選定された 5 支部が事業活動を発表しました。その発表内容に対し、出席した会員が票を投じ、順位を決定し、表彰を行いました。順位、発表支部名、発表者、発表内容は表のとおりです。

順 位	発表支部名	発 表 者	発 表 内 容
1	尼崎支部	会 長 藤田勝彦	銅線被覆剥離作業による福祉施設自立支援事業
2	東大阪支部	副部長 柳 泰志	東大阪支部での活動状況
3	播州支部	会 長 岡上 朗	いちかわ商工祭職業体験イベントブース出展等の活動
4	但馬支部	会 長 藤本 修	研修旅行 in 大阪
5	高槻支部	副部長 片山祐一	地域 P R 活動、親睦会、研修会等の 6 項目の諸活動

<懇 親 会>

堀口青年部会長の挨拶の後、来賓の向山関西電気工業会会長と植草全関東電気工業協会青年部会副会長の祝辞をいただき懇親会を開催しました。

途中、親会の方々の愉快なスピーチやダンサーによるアトラクションが行われ楽しいひと時を過ごすことができました。



懇親会アトラクション

安定雇用創出事業 終盤を迎えて

京都府電気工事工業組合では京都府の安定雇用創出事業として、若年層の求職者に対して第二種電気工事士資格取得の他、関係技能講習の受講等を目的とする事業の委託を受けました。

この事業により組合の臨時職員として採用した研修生も研修の終盤を迎えました。研修生に対して将来の電気工事士として関係のある電力設備の研修を、関西電力(株)のご協力により、平成25年1月30日に水力発電事業発祥の地である「蹴上発電所」の見学や京都営業所において「配電設備」の見学をさせて

頂きました。

研修では当時の京都府が行った壮大な疎水事業を為し遂げた経緯や、水力を活用した水力発電事業の模様などに触れ、先人たちの英知に感心しました。

また、京都営業所では配電設備の概要や電力の供給信頼度を上げるための配電線自動運用など、普段では滅多に経験できない配電設備を身近に触ることができました。このことは研修生の将来にとって有意義なものになったものだと思いますし、是非、なって欲しいと願っております。



蹴上発電所を見学した研修生（臨時職員）



京都営業所での電気設備の研修

組合行事●

一般用電気工作物調査業務連絡会を開催

一般用電気工作物調査業務連絡会を昨年11月27日に中之島の中央電気俱楽部会議室で開催しました。

調査業務のうち定期調査業務は4年に1回お客様の一般用電気工作物を調査するもので、関西電力管内の7か所（池田地区、宮津地区、淡路地区、相生地区、八日市地区、新宮地区）で関西電力から業務を受託しています。

また、一般用電気工作物の新設、変更にあたって電気工作物を調査する竣工調査についても定期調査を受託している同じ地区で業務を関西電力から受託しています。

この調査業務の実施について調査業務品質の維持・

向上を図るため、また、業務の円滑かつ効率化を図るために関係者（工組役員、調査センター長、事務局長）が集まり、業務報告、意見発表等の情報交換を行いました。

各センター間で不良発見率に差があること。発見している不良内容に偏りがあること。調査員によって差があること。等が判り、各センターでの業務改善ポイントが明確となりました。

また、センター長は他所での調査員教育、業務処理の方法が大いに参考になったようでした。

関西電力(株)本店からも出席していただき、他の調査機関との比較等を通じて特に工業組合としての取り組むべき留意事項についてアドバイスをいただきました。



連絡会会議の様子





黒部ダム思いを癒す研修旅行

奈良県電気工事工業組合 王寺支部 竹島 兼春

私たちの支部は六町村の集落地域で、ひとくれの土にもほのかな歴史の香りをふくみ、名もなき道ばたの草むらにも無限の親しみをただよわせています。新しい日本美をつくりだすために、知識と準備をもとめる場所もまたこの郷土であると思います。都市に近く現在は新興住宅地域でもあります、斑鳩町法隆寺世界遺産をはじめ重要な建物が数多くあり安らぎを思い出す街並みは見学者の絶えない街であります。また信貴山、山上より見た背景は近代社会を一望する眺めであります。その昔は大和における特殊な一文化地域として、古く歴史を持っている、この集落は石器時代の昔にひらけ、大陸の新しい文化は、あらゆる面に取り入れられ、すぐれた文化遺産も多く、農山村としては我が国有数の人口稠密（多く集まる）な所となりました。きわめて集約的な農業にみられるのも、そのためです。しかも美しい自然、温和な気候、天災地変もまた少なく、古来多くは寺社領に属してひどい課税に苦しむこともなかったため、人々は人情こまやかに、和平勤勉の習性をもうんだともいえます。一般に進んで新しいことをとりこまずに開発的気分を弱めたともいわれています。わずかの成功にあまんずる気風が抜け切れず、古い伝統と習慣は現在の社会生活と文化の上にきわめて深い関係は今でも残っているのであります。このよ



うな地域社会で活躍している組合員にも、ひとときの安らぎを与えたいたいと考えました。

そこで秋の研修旅行は黒部ダムに行こうと理事から話があり、黒部ダム研修旅行を会員の皆さんに話すと、希望者は即きまり気持ちは早くも黒部ダムへ・・・
・今日は朝から空は曇り、心配するが、皆さんの顔は爽やかで、いそいそと全員バスに乗り出発、岐阜をすぎて車窓からの眺めは、山並み日本の背景アルプス立山連峰、一路、湯の瀬に到着、旅館で休息し疲れも忘れる。

さらさらとせせらぎの音が気持ちいい、天然洞窟野天風呂、

きときとの海の幸、素朴な山の幸そして富山の地酒。



楽しく癒され朝が来た。今日も空は曇っている。

いよいよ宇奈月黒部川電気記念館へ・・・

バスを降りると俗世界と何か違う・・・

この雰囲気の意味するものはなんでしょうか。



とりあえず電気記念館の見学と説明を聞き電車（トロッコ電車）に乗り宇奈月発電所をはじめ8ヶ所の発電所、トンネル41ヶ所、橋22ヶ所、そして線路の横にトンネルがあり小さな四角い穴が見える。

これは雪が多い時は作業員の通路になるとの説明がありました。黒部川第四発電所。言葉にできないような岩盤をくり抜いてつくられた建造物、発電機の頭部が見える、タービン、制御室、何もかもが夢のようで言葉がありません。インクラインは、黒部トンネルの発電所側末端（標高1,325m）と発電所（標高869m）とを接続する軌道です。くろよん記念室、黒部ダムではシブキが下から舞い上がり、高さ186m水量は約2億立方メートルで北アルプスの雪解け水を満々とたたえています。雄大な山奥でコツコツと電気をつくり近代社会に送電している事が心深く分かりました。電気を大切に使うように心掛けたいと思います。

追伸：関西電力株様はじめ関係者の皆さん、誠に有難うございました。



ごんせつ

発行日／2013年4月 第169号
発 行／関西電気工事工業会(2府4県)
大阪市北区本庄東2丁目3番38号
TEL 06(6371)5534・FAX 06(6371)2338
発行人／向山 和義 事務局 木下 正弘

でんせつ編集委員会
委員長 橋詰 源治
委員(大阪) 小森 敏鑑
委員(京都) 石津 和孝
委員(兵庫) 坂元 宣之
委員(奈良) 福本 幸一
委員(滋賀) 小川 健治
委員(和歌山) 犬谷 典男

発行部数 7,600部 年4回(1・4・8・11月)発行

2013

NO.2

平成二十五年陽春号（季刊発行）

発行所＝関西電気工事工業会